

| | |
|---|---|
| 開講科目名 / Course | 国際観光論 / International Tourism |
| 時間割コード / Course Code | T4T10450_T1 |
| 開講所属 / Course Offered by | 観光学部 / Faculty of Tourism |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2021年度 / Academic Year 第2クォーター / 2Q |
| 曜限 / Day, Period | 木 / Thu 1, 木 / Thu 2 |
| 開講区分 / Semester offered | 第2クォーター / 2Q |
| 単位数 / Credits | 2.0 |
| 学年 / Year | 1,2,3,4 |
| 主担当教員 / Main Instructor | 出口 竜也 / DEGUCHI Tatsuya |
| 科目区分 / Course Group | |
| 授業形態 / Lecture Form | |
| 教室 / Classroom | T - 1 0 1 教室 / T-101 |
| 担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation) | 出口 竜也 / DEGUCHI Tatsuya (観光学部 (教員)) |
| 授業の概要・ねらい / Course Aims | 観光の国際化が経済的、政治的、社会的、環境的にどのような影響を与え、どのような課題を生み出しているかを主として日本を起点としたインバウンドを中心に考察する。国内外のさまざまな事例を比較し、共通点と相違点を抽出しながらグローバル環境における日本の国際観光のあり方を俯瞰する。また、国内外のインバウンド観光の事例に明るいフリーライターの方(此松武彦氏)をゲスト講師をお招きし、インバウンドの最前線の現状を知る機会もつくる予定である。 |
| 到達目標 / Course Objectives | Covid-19の感染拡大にともない、世界の観光産業は壊滅的な打撃を受けている。その現状を各種統計データから正しく理解し、観光経営のフレームワークを活用しながら、これからの国際観光のあり方について、学際的(経済的、経営的、政治的、社会的、歴史的、文化的)な視点で分析できる能力を涵養する。 |
| 教科書 / Textbook | 特に使用しません。資料等を配布し、授業を行う予定です。 |
| 参考書・参考文献 / Reference Book | 山田拓(2018)『外国人が熱狂するクールな田舎の作り方』新潮新書 ISBN-10: 4106107481 814円 アレックス・カー、清野由美(2019)『観光亡国論』中公新書 ISBN-10: 4121506502 902円 授業で直接使用しませんが、中間課題を提出する際に読んでもらう書籍になります。 |
| 履修上の注意・メッセージ / Notice for Students | 授業をしっかりと聞き、しっかりとノートをとるだけでなく、自らいろいろと調べて得られた知見をもとにレポートなどの課題に取り組んでください。 |
| 履修する上で必要な事項 / Prerequisite | レポート課題の提出はMoodleを使用します。提出にあたっては、様式と期日の厳守をお願いいたします。また、授業内でPCを使用する回もあります。事前に告知しますので、その際は各自持参してください。 |
| 授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours | 本授業の授業計画に沿って、準備学習1.5時間と復習1.5時間を行ってください。毎回、授業の最後の時間において予習・復習すべき課題を指示しますので、必ずそれらの課題をしっかりとこなし、上で次回の授業に臨んでください。 |
| その他連絡事項 / Other messages | |
| 科目ナンバリング / Course Numbering | (15期) T228501GJ / T228501J |
| 成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria | 中間レポート(1回予定:30点)、最終試験(70点)で評価します。 到達目標、および文章表現力にもとづいて下記の評価基準を適用します。 S: 十二分に達成している(中間レポート27点以上、最終試験63点以上) A: 十分に達成している(中間レポート24~26点、最終試験56~62点) B: 達成している(中間レポート21~23点、最終試験49~55点) C: おおむね達成している(中間レポート18~20点、最終試験42~48点) 不可: 達成していない(中間レポート18点未満、最終試験42点未満) |
| 授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes | なし |
| 履修を推奨する関連科目 / Related Courses | 観光経営関連の科目 |
| オフィスアワー / Office Hours | 水曜日4時限 訪問先:西4号館 出口研究室 |

授業計画詳細 / Course schedule

| 回(日時) /Time (date and time) | 主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position | 学習方法と内容 /Methods and contents | 備考 /Notes |
|--------------------------------|--|----------------------------------|--------------|
| | イントロダクション | | |
| | 国際観光のフレームワーク(1) | 外なる国際化としてのアウンパウンド | |
| | 国際観光のフレームワーク(2) | 内なる国際化としてのインパウンド | |
| | 国際観光の歴史と現状 | 諸外国における国際観光の歴史と現状 | |
| | 日本の国際観光の歴史 | 日本における国際観光の歴史 | |
| | 日本の国際観光の現状(1) | 各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(1) | PC使用 |
| | 日本の国際観光の現状(2) | 各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(2) | PC使用 |
| | 日本の国際観光の現状(3) | 各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(3) | PC使用 |
| | 日本の国際観光の現状(4) | 各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(4) | PC使用 |
| | 日本の国際観光の現状(5)(此松武彦氏) | インパウンド観光の最前線(1) | |
| | 日本の国際観光の現状(6)(此松武彦氏) | インパウンド観光の最前線(2) 受講生との質疑応答 | |
| | ケーススタディ(1) | Covid-19下で飲食業・宿泊業がなすべきこととは | |
| | ケーススタディ(2) | Covid-19下で旅行業がなすべきこととは | |
| | ケーススタディ(3) | Covid-19下で地域がなすべきこととは | |
| | まとめ | 日本の国際観光の展望 | |